

自 2020 年 4 月 1 日
至 2021 年 3 月 31 日

2020 年度
第 42 期
事業計画書

公益財団法人松尾芸能振興財団
東京都港区南青山 6-1-3

2020 年度事業計画書

全体の事業計画

日本の伝統ある劇場芸能を助成し、振興し、もって我が国独自の文化、芸能の保存及び向上に寄与することを目的に、引き続き「松尾芸能賞」は、各種演劇演技、舞台音楽、舞台施設、劇作演出、伝統芸能、民族芸能、歌謡芸能、大衆芸能等々芸能界各種部門において貴重な実績を残し、或いは将来を期待される人々のうちから広く候補を求め、大賞、優秀賞、特別賞、新人賞 等を選考し、これに対して賞金、賞牌を添えて表彰します。また、昨年に引き続き、「自主公演」事業の「女性による伝統芸能の伝承」の公演開催、「育成」事業の松尾塾伝統芸能の稽古場運営と公演の開催、「助成」事業の日本の伝統芸能を継承・保存する活動に対しての助成も行います。なお、海外との文化交流についても前向きに検討します。

1. 松尾芸能賞の運営

1) 選考および審議と決定

選考委員と推薦人による候補者選出の後、選考委員会にて受賞対象分野の確認並びに受賞候補者の選考ののち内定とし、評議員会および理事会の審議を経て受賞者を正式決定します。

2) 贈呈式実施概要

式典名：第 42 回松尾芸能賞贈呈式

開催日：2021 年 3 月

場 所：帝国ホテル東京（東京都千代田区内幸町 1-1-1）

2. 自主公演事業 第 5 回「女性による伝統芸能の伝承」の企画

「第 5 回女性による伝統芸能の伝承」の公演開催を予定しています。

1) 企画目的・理由

日本に生まれ育った人で「日本舞踊」という言葉を知っていても「日本舞踊を劇場で観た経験がある人」は少ないです。解説とともに「日本の舞」の意味、美しさを伝え、日本人が長い年月で培い今もなお進化し続けている日本の舞台芸術を紹介します。また、「日本の舞」は神への奉納、対話。貴族、武士の娯楽。民衆の娯楽と様々な形で歴史を歩んできました。今回の公演では、大陸からの影響を色濃く残す「舞楽」。舞楽、能の影響を受けながら庶民の娯楽として発展した「歌舞伎舞踊」そして、舞踊としての新しい境地を築こうと創作された作品の 3 部構成で、古代から現代に至る日本の「舞」の流れを披露します。

2) 公演概要

公演名： 第5回女性による伝統芸能の伝承
開催日： 2020年11月14日(土)午後2:00開演
場 所： 国立劇場小劇場(東京都千代田区隼町4-1)
構 成： 舞楽・歌舞伎舞踊・新作舞踊
出 演： 舞楽－伶楽舎 歌舞伎舞踊－中村梅彌 新作舞踊－花柳流一門 他
解 説： 葛西聖司
演 目： 舞楽「青海波」二番 歌舞伎舞踊「豊後道成寺」一番
新作舞踊(花柳輔太郎演出)一番(予定)

3. 育成事業 松尾塾伝統芸能の運営

「松尾塾伝統芸能」の稽古場運営と「子供が挑む伝統芸能」の公演開催を予定しています。

また、招聘を受け国外1ヶ所、国内1ヶ所で催しに出演を予定しています。

1) 稽古場運営・稽古の実施

日 程： 基本、毎週日曜日
時 間： 午前10時から午後2時30分 途中休憩あり
場 所： 松尾塾伝統芸能 東日本橋稽古場
回 数： 35回(予定)
内 容： 狂 言 小舞・謡・狂言
日本舞踊 女舞・男舞
長 唄 唄・三味線
鳴 物 小鼓・大鼓・太鼓

2) 「子供が挑む伝統芸能」公演開催概要

公演名： 第四回松尾塾伝統芸能公演 子供が挑む伝統芸能
「狂言・小舞」
開催日： 2020年6月14日(日)午後2:00開演
場 所： 梅若能楽学院会館(東京都中野区東中野2-6-14)
監 修： 野村万作
指 導： 中村修一 内藤連
演 目： 小舞：「よしの葉」「土車」「宇治の晒」「八島後」
狂言：「盆山」「成上り」「口真似」「蝸牛」

「日本舞踊・長唄・鳴物」

開催日： 2020年8月8日（土）午後2：00開演

場 所： 中央区立日本橋公会堂(東京都中央区日本橋蛸殻町1-31-1)

監 修： <鳴 物> 田中長十郎

指 導： <日本舞踊> 花柳輔太朗 花柳輔瑞佳 花柳美輝風

<長 唄> 東音塚原勝利 東音山内美穂 東音布施田千郁

<鳴 物> 藤舎千穂 藤舎朱音 藤舎清穂

演 目： <日本舞踊> 「正札附根元草摺」「長唄 春夏秋冬」

<長唄 鳴物> 「松の緑」「都鳥」「連獅子」「元禄花見踊り」

3) 招聘を受け、以下2つの催しに出演予定

公演名： 松尾塾伝統芸能公演 in サンフランシスコ

内 容： 日本舞踊・長唄

日 程： 2020年8月23日（日）午後3時から

場 所： CAMA TAKEUCHI ホール

指 導： <日本舞踊>花柳輔太朗 ・ 花柳輔瑞佳 ・ 花柳美輝風

<長 唄>東音塚原勝利 ・ 東音山内美穂 ・ 東音布施田千郁

演 目： <日本舞踊> 「流星」「屋敷娘」「菖蒲浴衣」

<長 唄> 「大薩摩」

公演名： 東京2020NIPPON フェスティバル共催文化プログラム

内 容： 日本舞踊

日 程： 2020年8月29日（土）・30日（日）午後7時～午後8時30分

場 所： 天王洲運河

指 導： 花柳輔太朗 ・ 花柳輔瑞佳 ・ 花柳美輝風

演 目： 連獅子（予定）

4. 助成事業の運営

日本伝統芸能の振興、継承を目指す個人、または団体が更なる発展を遂げ、基礎基盤を強化する為の活動に助成します。

1) 助成対象者の募集

公式サイトにて一般公募を行います。

2) 審議と内定

選考委員会にて、審議、検討のうえ選定し内定とします。評議員会および理事会の審議を経て助成対象者を正式決定します。

5. 国際交流について

育成事業 松尾塾伝統芸能が CMSA(community school of music and arts)からの招聘を受け交際交流を行います。3.-3) 報告事項

出演者：松尾塾伝統芸能塾生

内 容：日本舞踊 ・ 長唄

スケジュール	場所	催し
8月22日(土)	サンフランシスコ KABUKI Theater	松尾塾伝統芸能公演
	サンフランシスコ総領事公邸	パフォーマンス
8月23日(日)	マウンテンビュー TAKEUCHI ホール	松尾塾伝統芸能公演

6. 本年度経費予算

本年度事業計画に要する経費の予算は次の通りです。

1) 事業費

「松尾芸能賞贈呈式の開催」 「女性による伝統芸能の伝承公演の開催」 「松尾塾伝統芸能の運営と公演の開催」 「助成事業の助成金」 「国際交流」 その他運営費

2) 事務費

諸連絡、打合せ、会議費用並びに各庶務、用度費用

3) 予備費